

# 広島大学病院 がん医療従事者研修会 —肉腫について勉強する①—

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

(座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

## 講演1

### 「骨肉腫ってどんながん？ —病理の立場から—」

広島大学病院 病理診断科 科長

有 廣 光 司 先生

骨肉腫ってどんな悪性腫瘍なんですか？骨や肉がどうなっているのでしょうか？何だか分かりにくいですねえ。骨肉腫はJリーガーの塚本 泰史選手、著明なアメリカ人ピアニストのヴァン・クライバーン氏、また『飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ』で知られる井村和清医師などが罹患したことでご存知の方もおられるかもしれません。本セミナーでは骨肉腫の病理学的特徴について分かりやすく解説します。

## 講演2

### 「当院における最近の骨肉腫に対する 治療戦略と注意事項」

広島大学病院 整形外科 助教

古 田 太 輔 先生

骨肉腫は、好発年齢が10代の患者が多く、化学療法そして手術が基本治療となるため、小児科、整形外科、リハビリ、看護師、心理士などメディカルとの連携が必要不可欠です。特に近年、忘れてはならない注意事項として若年性悪性腫瘍患者の妊孕能温存(精子凍結、卵子凍結、受精卵凍結、卵子凍結)の説明を怠らず、生殖医療科との連携も必要です。

今回は特に化学療法での注意点、手術の方法や工夫についてお話をさせていただきます。

開催日時 ▶ 2018年11月9日(金)18:30～

開催場所 ▶ 広島大学病院 基礎社会・医学棟2F セミナー室2  
〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

参加申込は、**広島大学病院医療支援グループ**へお知らせください。

☎ : [byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp) Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5934

(主催)

広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン